

医療用品 04 整形用品

管理医療機器 分娩時処置用具セット 70978000

ナートキット

再使用禁止

【警告】

使用方法

羊水吸引カテーテル、手動式生体用洗浄器、吸引カテーテル

カテーテルを経鼻挿入する際には、鼻腔及び気管の粘膜を傷つけないように注意すること。又、それ以外の部位に挿入する場合でも、注意すること。[組織又は粘膜を傷つけるおそれがあるため]

臍帯クランプ

結紮・切断の約30分から1時間後には、臍帯から出血のないことを確認すること。[結紮が不十分であると血液が漏れるため]

ネラトンカテーテル、吸引チューブ、カテーテルコネクタ、吸引カテーテル

接続部の漏れや外れに注意し、適宜増し締め、締め直し等の適切な処置を行うこと。[使用中に緩むことがあるため]

臍帯クランプ

臍帯結紮以外の目的で使用しないこと。[必要とする性能が得られないため]

はさみ、鉗子、持針器

本品に曲げ、切削等の加工をしないこと。[破損等の原因になるため]

カテーテルコネクタ

本品に使用されている素材に対し、アレルギー体質又はかぶれやすい患者には使用しないこと。[アレルギー症状を起こすことがあるため]

【形状・構造及び原理等】

・本品は2品以上の構成品を組合わせたものです。

<構成品>

注射針

シリンジ

吸引カテーテル

ネラトンカテーテル

羊水吸引カテーテル

手術用手袋

医療ガーゼ

医療脱脂綿

コットンボール

臍帯クランプ

X線造影材入りガーゼ

はさみ

単回使用汎用サージカルドレープ

手動式生体用洗浄器

吸引チューブ

カテーテルコネクタ

綿状パッド

鉗子

持針器

その他処置用具

【禁忌・禁止】

再使用禁止

再滅菌禁止

シリンジ

造影剤等の高圧注入には使用しないこと。[破損等のおそれがあるため]

吸引カテーテル、ネラトンカテーテル、羊水吸引カテーテル、手動式生体用洗浄器、吸引チューブ、カテーテルコネクタ

カテーテル及び接続箇所のコネクタをアルコール含有薬剤で消毒しないこと。[カテーテルが切断したり、コネクタにひび割れ等が生じるおそれがあるため]

医療ガーゼ、医療脱脂綿、コットンボール、綿状パッド

体内に留置しないこと。[体内に残存するため]

X線造影材入りガーゼ

体内に留置しないこと。[体内に残存するため]

鋭利な刃物を用いる場合は、X線造影糸を傷つけないよう慎重に行なうこと。又、器具等を用いて本品を挟む場合は、X線造影糸部分以外のガーゼを挟んで使用すること。[X線造影糸が切れたり抜け落ちて、体内に残存する恐れがあるため]

X線造影糸に電気メス等を近づけないこと。[切断又は引火するおそれがあるため]

吸引カテーテル、羊水吸引カテーテル、手動式生体用洗浄器

本品を気管内異物、娩出児の羊水の吸引以外の用途で使用しないこと。

[必要とする性能が得られないため]

手術用手袋

天然ゴムラテックスによるアナフィラキシーショック症状の既往歴がある医療従事者及び患者は使用しないこと。[天然ゴムはアナフィラキシーショック症状を起こすことがあるため]

#### 【使用目的又は効果】

分娩時、産婦及び新生児に使用することを目的として、消毒、止血、排液除去の処置を行うために、ガーゼ、カテーテル等の器具を組合せたセットをいう。

#### 【使用方法等】

- ①本品を開封します。
- ②含まれる構成部品及び付属品を、適切な方法で展開してください。
- ③展開した構成部品及び付属品の種類、数量がラベル等に表示されている本品の構成内容と相違ないか確認してください。
- ④本品に含まれていない必要な材料等を準備してください。
- ⑤構成部品及び付属品は、医師の判断のもと、実施する手術、手技の手順に沿って、各構成部品及び付属品の使用方法、効能・効果の範囲にて使用してください。

・構成品の操作方法又は使用方法等は、3 ページ以降をご確認ください。

#### 【使用上の注意】

##### <重要な基本注意事項>

- ・ご使用前にラベルを点検し、処置を行う上で不足している機器があれば、あらかじめ準備をしておいてください。
- ・構成部品及び付属品は、医師の判断のもと、実施する手術、手技の手順に沿って、各構成部品及び付属品の使用方法、効能・効果の範囲にて使用してください。
- ・包装を開封したら直ちに使用し、使用後は医療廃棄物として適切に処理・廃棄してください。
- ・本品を落としたり、衝撃を与えると破損する恐れがありますので、取扱いに注意してください。
- ・構成品の操作方法又は使用方法等は、3 ページ以降をご確認ください。

#### 【保管方法及び有効期間等】

##### <貯蔵・保管方法>

- ・水ぬれに注意し、高温、多湿、直射日光のあたる場所を避けて保管してください。

##### <使用期限>

- ・製造日より3年（自己認証による）

#### 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元

大衛株式会社

TEL : 06-6921-7373

製造元

大衛株式会社 津工場

TEL : 059-234-2529

## 構成品の【使用方法等】【使用上の注意】

### 【使用方法等】

#### 注射針

本品は1回限りの使い捨てのため再使用しないでください。

①注射針をシリンジにしっかり付けます。

②プロテクターをまっすぐ引いて外し、使用します。

<使用方法に関連する使用上の注意>

①本品の針管部には直接手を触れないでください。

②針基に過剰な負荷をかけないでください。又、接続時はプロテクターで針基に過剰な回転負荷をかけないでください。[針管又は針基が破損する可能性があります。]

③プロテクターを外すとき、針先がプロテクターに触れないよう注意してください。[プロテクターが針先に触れると刃先が変形し、穿刺しづらくなる場合があります。]

④注射針をバイアル輸液容器等のゴム栓に穿刺する場合には、なるべく刺通面に垂直に刺し、横方向に力を加えたり、同一部位に穿刺されることのないように注意してください。

⑤アンプル等の薬液容器壁面に注射針が当たらないように注意してください。[刃先が変形し、穿刺しづらくなる場合があります。]

⑥接続部に薬液又は血液を付着させないでください。[接続部の緩み等が生じる可能性があります。]

⑦プロテクターをかぶせる際には、誤刺及びプロテクターからの針の飛び出しに注意して慎重に行ってください。

#### シリンジ

<使用方法に関連する使用上の注意>

①他の医療機器と併用する場合は、確実に接続又は取り付けられていることを確認してください。

②注射針の装着は無理な力をかみずに行ってください。

③接続部に薬液又は血液を付着させないでください。[接続部の緩み等が生じる可能性があります。]

④コネクタ等と接続する際、筒先に横方向の力を加えないでください。[筒先の湾曲や破損等が生じる可能性があります。]

⑤本品に強い力を加えないよう注意してください。[破損する可能性があります。]

⑥接続部からの液漏れ等の異常が認められた場合は使用しないでください。

#### 吸引カテーテル

①カテーテルと吸引調節器のダイヤルで吸引圧を調節します。

②カテーテルに滅菌水を通します。

③吸引圧が加わらないようにカテーテルの基部を操作し、カテーテルの先端を鼻腔に沿って咽頭部まで進めます。口腔内から吸引する場合は十分に開口させ、舌を前に出させてください。

④吸引圧の調節は、調節ロタイプは、調節口を塞いで調節します。

コネクタタイプは、接続部でカテーテルを折り曲げてください。

⑤目的の場所にカテーテルを挿入したら、カテーテル内の吸引圧を加えるとともに、先端をくるくると回しながら吸引してください。

<使用方法に関連する使用上の注意>

①使用前に、カテーテルのサイズや形状が挿入部位に適合していることを確認してください。

②他の医療機器と併用する場合には、確実に接続又は取り付けられていることを確認してください。

③接続部への薬液等の付着に注意してください。[接続部の緩み等が生じる可能性があります。]

④カテーテル挿入時は口腔、鼻腔等挿入する部位の粘膜への損傷に十分注意してください。

⑤カテーテル挿入時に抵抗がある場合は、カテーテルを抜いて、原因を解消した後、もう一度挿入直してください。

⑥カテーテルを挿入する際は、挿入部位への入れすぎに注意してください。[カテーテルを抜去できなくなる可能性があります。]

⑦カテーテルを抜去する際は、ゆっくりと引き抜いてください。[粘膜損傷を引き起こす可能性があります。]

#### ネラトンカテーテル

##### [導尿に用いる場合]

①包装を開封したら、汚染に十分注意してカテーテルのシャフトに潤滑剤を塗布してください。

②カテーテルを把持して、尿道口に挿入してください。

③尿が完全に流出したら、静かにカテーテルを抜去してください。

##### [分泌物吸引に用いる場合]

①包装を開封したら、汚染に十分注意してカテーテルを取り出してください。

②接続部にコネクタ又はシリンジをしっかり接続してください。

③目的の場所にカテーテルを挿入したら、カテーテル内の吸引圧を加えるとともに、先端をくるくると回しながら吸引してください。

<使用方法に関連する使用上の注意>

- ①使用前にカテーテルのサイズや形状が挿入部位に適合していることを確認してください。
- ②他の医療機器と併用する場合は、確実に接続又は取り付けられていることを確認してください。
- ③接続部への薬液等の付着に注意してください。[接続部の緩み等が生じる可能性があります。]
- ④挿入操作は慎重に行い、挿入する部位の粘膜への損傷に十分注意してください。
- ⑤カテーテル挿入時に抵抗がある場合は、カテーテルを抜いて、原因を解消した後、もう一度挿入し直してください。
- ⑥カテーテルを挿入する際は、挿入部位への入れすぎに注意してください。[カテーテルを抜去できなくなる可能性があります。]
- ⑦カテーテルを抜去する際は、ゆっくりと引き抜いてください。[粘膜損傷を引き起こす可能性があります。]

羊水吸引カテーテル

- ①カテーテルを口腔、鼻腔から挿入しマウスピースより口、シリンジ又は吸引器で羊水等を吸引、採取します。
- ②以下に羊水吸引の一例を示します。
  - ・新生児の鼻孔が真下に向いていることに留意して、鼻孔内にカテーテルを挿入して羊水を吸引します。
  - ・新生児の口を開かせて、口腔内、咽頭内等の羊水を吸引します。
- ③必要に応じて、吸引した羊水等の粘液の量を羊水トラップの目盛り確認します。
- ④吸引した羊水等の粘液を検体検査に使用する場合は、トラップキャップを外してトラップ内の羊水等を採取してください。
- ⑤1回の吸引時間はなるべく短くしてください。羊水等の量が多く、1回の吸引で不十分な場合は必ず途中で休み、患者の状態を確認した後に行ってください。

手術用手袋

- ①包装を開封し、台紙ごと手袋を取り出してください。
- ②台紙を開いて、手袋を取り出し、無菌的に装着します。
- ③パウダーを十分に除去してから使用してください。

医療ガーゼ・医療脱脂綿・コットンボール・X線造影材入りガーゼ・綿状パッド

- ①使用目的に応じ、適宜使用する。

臍帯クランプ

- ①臍輪から約2cmの部位の臍帯をクランプの中央に合わせます。
- ②クランプの先端をカチッと音がするまで押して確実に結紮します。
- ③クランプから胎盤側に約1cm離れた部位をはさみで切断します。
- ④臍帯が確実に結紮されている事を確認し、常に新生児の状態を監視します。特に結紮・切断の約30分～1時間後には臍帯から出血のないことを確認してください。[結紮が不十分であると血液が漏れる可能性があります。]
- ⑤臍帯クランプは、結紮後24時間以上経ってから外します。

はさみ

- ①2枚の刃の間に切断したい物を挟み、ハンドルを握って2枚の刃を閉じて切断します。

<使用方法に関連する使用上の注意>

- ①使用前に開閉不良及び異常な磨耗、ひび、錆、腐食等の損傷がないことを確認してください。異常が認められた場合は、使用しないでください。

単回使用汎用サージカルドレープ

- ①本品を袋より取り出し、そのまま直ちに1回限りで使用してください。
- ②血液等の体液が付着したものについては、医療廃棄物として処理してください。
- ③滅菌袋を開封したものについては、使用したものと見なし、再使用しないでください。

手動式生体用洗浄器

- ①本体を握り、圧縮した後、解放することで本体の復元力により膿、鼻汁、唾液、生理食塩液等を吸引してください。
- ②本体内部に吸引物がある状態で、本体を握り、吸引物の排出もしくは目的部位の洗浄を行ってください。

吸引チューブ

- ①包装を開封し、本品を取り出します。
- ②接続機器の接続口、接続するカテーテル、チューブのファネル部に適合するチューブを選択します。

③しっかりと接続します。

<使用方法に関連する使用上の注意>

①接続部への体液や薬液等の付着に注意してください。[接続部の緩み等が生じる可能性があります。]

②接続部からの液漏れ等の異常が認められた場合は使用しないでください。

#### カテーテルコネクタ

①各種の器具類やチューブ類との径を合わせて、カテーテルと吸引調節器を接続管でしっかりと接続してください。

#### 【使用上の注意】

##### 注射針

<重要な基本的注意>

①併用する医薬品及び医療機器の添付文書を確認後、それぞれの使用方法、使用上の注意に従って使用してください。

②あらかじめ接続部に緩みがないことを確認してから使用してください。使用中は、本品の破損、接続部の緩み、薬液漏れ及び詰まり等について十分注意してください。

③プラスチック製品なので、低温時の取扱いには注意してください。[針管又は針基が破損する可能性があります。]

④包装を開封したら直ちに使用し、使用後は、医療廃棄物として適切に処理・廃棄してください。

##### シリンジ

<重要な基本的注意>

①使用するにあたって、目的とする製品であることを確認してください。

②包装を開封したら直ちに使用し、使用後は、医療廃棄物として適切に処理・廃棄してください。

③併用する医薬品及び医療機器の添付文書を確認後、それぞれの使用方法、使用上の注意に従って使用してください。

④あらかじめ接続部に緩みがないことを確認してから使用してください。使用中は本品の破損、接続部の緩み、空気混入、薬液漏れ及び詰まり等について確認してください。

⑤ルーアキャップが外れたり、緩んでいる場合は、確実に固定してください。

⑥押し子はまっすぐ引いてください。[斜めに引くと、ガスケットと外筒との密着性が悪くなり、液漏れ、空気混入又はガスケットの外れが生じる可能性があります。]

⑦外筒印刷部の目盛を越えて押し子を引かないでください。[押し子が外筒から抜けて液漏れ、空気混入が生じる可能性があります。]

⑧ガスケットに針等で傷をつけないでください。[破損が生じ、液漏れ、空気混入及び運動抵抗の増加が生じる可能性があります。]

⑨本品を鉗子等でつまんで傷をつけないように、さらに、はさみ等の鋭利なもので傷をつけないように注意してください。[液漏れ、空気混入や破損が生じる可能性があります。]

⑩外筒部を強く握る等、圧迫するような負荷を加えないでください。[圧迫によりガスケットと外筒との密着性が悪くなり、液漏れや空気混入が生じる可能性があります。]

⑪コネクタを接続する場合は、過度な締め付けをしないでください。[コネクタが外れなくなる又は、コネクタが破損し、接続部からの液漏れ、空気混入が生じる可能性があります。]

⑫外筒印刷部をこすったり、あるいは薬液がついた状態で放置しないでください。[目盛等の印刷部が消える可能性があります。]

⑬注射針等を接続し、使用する場合には、誤刺に注意し、慎重に取り扱ってください。

⑭運搬・操作時には、振動や衝撃に注意してください。

⑮低温下の衝撃で破損する危険があるため、低温時の取扱いに注意してください。

##### 吸引カテーテル

<重要な基本的注意>

①併用する医薬品及び医療機器の添付文書を確認後、それぞれの使用方法、使用上の注意に従って使用してください。

②本品は脂溶性溶剤存在下で塩化ビニルの可塑剤であるフタル酸ジエチルヘキシルが溶出する可能性があります。

③あらかじめ接続部に緩みがないことを確認してから使用してください。使用中は本品の破損、接続部の緩み、空気混入、液漏れ及び詰まり等について、十分注意してください。

④カテーテルが折り曲げられたり、引っ張られた状態で使用しないでください。

⑤カテーテルを鉗子等でつまんで傷をつけないように、さらに、はさみ等の鋭利なもので傷をつけないように注意してください。[液漏れ、空気混入や破損が発生する可能性があります。]

- ⑥カテーテルとコネクター等の接続部には過度に引っ張る、押し込む、折り曲げるような負荷を加えないよう注意してください。[カテーテルの抜け、破損、伸び等が生じる可能性があります。]
- ⑦カテーテル挿入時には、歯、鼻甲介等及び鋭い器具等でカテーテルに傷をつけないよう注意してください。[液漏れ、空気混入や破損が発生する可能性があります。]
- ⑧コネクターを接続する場合は、過度な締め付けをしないでください。[コネクターが外れなくなる又は、コネクターが破損し、接続部からの液漏れ、空気混入が生じる可能性があります。]
- ⑨体動でねじれると流路が閉塞する可能性があるので注意してください。
- ⑩鼻腔、口腔、咽喉、喉頭、気管等粘膜への損傷に十分注意してください。
- ⑪接続部を汚染させないでください。
- ⑫包装を開封したら直ちに使用し、使用後は、医療廃棄物として適切に処理・廃棄してください。

#### ネラトンカテーテル

##### <重要な基本的注意>

- ①併用する医薬品及び医療機器の添付文書を確認後、それぞれの使用方法、使用上の注意に従って使用してください。
- ②本品は脂溶性溶剤存在下で塩化ビニルの可塑剤であるフタル酸ジエチルヘキシルが溶出する可能性があります。
- ③あらかじめ接続部に緩みがないことを確認してから使用してください。使用中は本品の破損、接続部の緩み、空気混入、液漏れ及び詰まり等について、十分注意してください。
- ④カテーテルが折り曲げられたり、引っ張られた状態で使用しないでください。
- ⑤カテーテルを鉗子等でつまんで傷をつけないように、さらに、はさみ等の鋭利なもので傷をつけないように注意してください。[液漏れ、空気混入や破損が発生する可能性があります。]
- ⑥カテーテルとコネクター等の接続部には過度に引っ張る、押し込む、折り曲げるような負荷を加えないよう注意してください。[カテーテルの抜け、破損、伸び等が生じる可能性があります。]
- ⑦導尿に用いる場合は、以下の事項を遵守してください。
  - ・排尿が確認できない場合は、カテーテルが閉塞していないこと及びカテーテルが折れていないことを確認してください。
  - ・カテーテル挿入時は尿道等挿入する部位の粘膜への損傷を十分注意

してください。

- ⑧分泌物吸引に用いる場合は、以下の事項を遵守してください。
  - ・カテーテルを気管内挿入時には、歯、鼻甲介等及び鋭い器具等でカテーテルに傷をつけないように注意してください。[液漏れ、空気混入や破損が発生する可能性があります。]
  - ・気管内チューブに本品を挿入する場合は、気管内チューブ内径に合ったカテーテルサイズを選択してください。
- ⑨体動等でねじれると流路が閉塞する可能性があるので注意してください。
- ⑩接続部を汚染させないでください。
- ⑪包装を開封したら直ちに使用し、使用後は、医療廃棄物として適切に処理・廃棄してください。

#### 羊水吸引カテーテル

##### <重要な基本的注意>

- ①異常が認められた際は直ちに使用を中止し、診断の上で対処、代替処置等を施してください。
- ②本品は単回使用の製品ですので、1回限りの使用で使い捨て、再使用しないでください。
- ③本品を羊水等の吸引以外の目的で使用しないでください。
- ④使用前にトラップにひび割れ等がないこと、カテーテル及び吸引チューブに折れや閉塞がないことを確認してください。
- ⑤羊水等の吸引前にマウスピースがシリンジ等に確実に接続されていることを確認してください。
- ⑥本品は医師の指示に従って使用してください。又、吸引器使用の場合、吸引圧設定は医師が行うか、医師の指示に従ってください。
- ⑦カテーテルを挿入する際は、鼻腔及び気管の粘膜や組織を傷つけないように注意してください。
- ⑧吸引チューブ及びカテーテルを鉗子等の硬いもので挟まないでください。
- ⑨本品を使用する際は、トラップを傾けて使用しないでください。又、トラップの目盛以上に羊水等を吸引しないでください。
- ⑩口で吸引する場合は感染の危険がありますので、常にトラップ内の羊水等の量に注意してください。
- ⑪吸引後、カテーテル内に残った吸引物が患者へ逆流するのを防ぐため、カテーテル内に吸い残しがないことを確認してください。
- ⑫キャップを外すときは、吸引物がこぼれないよう、又、手指に付着しないよう慎重に行ってください。

- ⑬トラップを検体保存用の容器として使用しないでください。
- ⑭包装を開封したら直ちに使用し、使用後は、医療廃棄物として適切に処理・廃棄してください。

#### 手術用手袋

- ①この製品は天然ゴムラテックスを使用しています。天然ゴムラテックスは、かゆみ、発赤、じんましん、むくみ、発熱、呼吸困難、喘息様症状、血圧低下、ショックなどのアレルギー性症状をまれに起こすことがあります。このような症状を起こした場合には、直ちに使用を停止し、適切な措置を施してください。
- ②天然ゴムラテックスと接触する機会が多い方々は、天然ゴムラテックスアレルギー発症のハイリスクグループと考えられるため、使用に関しては注意してください。
- ③パウダー付きの手術用ゴム手袋に使用されているパウダーは、まれにラテックスたん白アレルギーのキャリア（媒体）となり、ラテックスアレルギーを引き起こす可能性がありますので、使用に関しては注意してください。

#### <重要な基本的注意>

- ①包装が破損していたり、汚損していた場合、製品に破損やピンホールなどの異常が認められる場合は使用しないでください。
- ②包装を開封したら直ちに使用し、使用後は感染防止に留意し、医療廃棄物として適切に処理・廃棄してください。
- ③刃物等鋭利な器具に触れると破れたり、穴があくことがありますので注意してください。
- ④電気メス使用時に高周波回路が形成された場合、手袋の電気絶縁性が損なわれることもありますので注意してください。[火傷を起こす可能性があります。]

#### <相互作用>

- ①手袋は、薬品、溶剤等によっては、膨張したり浸透する場合がありますので、確認の上、使用してください。
- ②この包装が開封されるか又は傷つけられるまで無菌になります。
- ③油脂により材質が劣化する場合があるので、確認の上、注意して使用してください。

#### 医療ガーゼ・医療脱脂綿・コットンボール・X線造影材入りガーゼ・綿状パッド

- ①本品の使用は1回限りとし、再使用しないでください。
- ②体内に留置しないでください。

- ③電気メス等を近づけると、切れたり発火するおそれがあるので注意して使用してください。
- ④包装を開封したら直ちに使用し、使用後は、医療廃棄物として適切に処理・廃棄してください。

#### 臍帯クランプ

- ①臍帯クランプの中央で臍帯を結紮してください。
- ②結紮後 24 時間以上経ってから臍帯クランプを外してください。
- ③本品は単回使用の製品ですので、1回限りの使用で使い捨て、再使用しないでください。
- ④包装を開封したら直ちに使用し、使用後は、医療廃棄物として適切に処理・廃棄してください。

#### はさみ

##### <重要な基本的注意>

- ①使用前に、開閉不良及び異常な磨耗、ひび、錆、腐食等の損傷がないことを確認し、異常が認められた場合は、使用しないでください。

##### <有害事象>

##### 医療材料及び組織の損傷

#### 単回使用汎用サージカルドレープ

- ①製品本体に穴を空けるなどの追加加工は絶対しないでください。
- ②包装を開封したら直ちに使用し、使用後は、医療廃棄物として適切に処理・廃棄してください。

#### 手動式生体用洗浄器

##### <重要な基本的注意>

- ①本品は医家向け医療機器にて使用目的以外に使用しないでください。
- ②併用する医療機器及び薬剤に関する指示は、その製造販売元の添付文書に従ってください。
- ③包装を開封したら直ちに使用し、使用後は、医療廃棄物として適切に処理・廃棄してください。

#### 吸引チューブ

##### <重要な基本的注意>

- ①使用は1回限りとし、再滅菌、再使用しないでください。
- ②使用するにあたって、目的とする製品であることを確認してください。

- ③併用する医療機器の添付文書を確認後、それぞれの使用方法、使用上の注意に従って使用してください。
- ④本品は脂溶性溶剤存在下で塩化ビニルの可塑剤であるフタル酸ジ-2-エチルヘキシルが溶出する可能性があります。
- ⑤あらかじめ接続部に緩みや液漏れ等がないことを確認してから使用してください。使用中は本品の破損、接続部の緩み、液漏れ及び詰まり等について、定期的に確認してください。
- ⑥チューブが折り曲げられたり、引っ張られた状態で使用しないでください。
- ⑦チューブを鉗子等でつまんで傷をつけないように、さらに、はさみ等の鋭利なもので傷をつけないように注意してください。[液漏れや破損が発生する可能性があります。]
- ⑧体動でねじれると流路が閉塞する可能性があるので注意してください。
- ⑨包装を開封したら直ちに使用し、使用後は、医療廃棄物として適切に処理・廃棄してください。

#### カテーテルコネクタ

##### <重要な基本的注意>

- ①本品は滅菌済み製品であり、1回限りの使用で使い捨て、再使用しないでください。
- ②包装の破損したもの、開封済みのもの又は水濡れしたものは使用しないでください。
- ③包装を開封したら、速やかに使用してください。
- ④接続部は使用中に緩むことがあります。漏れや外れに注意し、締め直し等の適切な処置を行ってください。
- ⑤本品は、各種の器具類やチューブ類との接続用コネクタです。他の目的には、使用しないでください。
- ⑥全操作中に、穿刺具、メス、はさみ、縫合針等をチューブに接触させないでください。[傷付けて液漏れが生じるおそれがあります。]
- ⑦包装を開封したら直ちに使用し、使用後は、医療廃棄物として適切に処理・廃棄してください。